

新型コロナワクチンQ & A No. 3

問新型コロナウィルスワクチン接種対策班(健康福祉課内) ☎(57)4257

◆接種後の生活

Q 1. 接種後に発熱した状態で人と会った場合、周りの人を感染させてしまうことはありますか。

A 1. ワクチンの接種による発熱は免疫反応で起きるものであり、ワクチンが原因で周りの人に感染させることはありません。ただし、たまたま同じ時期に新型コロナウイルスに感染していた場合は、周りの人に感染させる可能性はあります。

◆その他

Q 1. 免疫力はワクチン接種以外でも上げられますか。

A 1. 睡眠時間の確保、運動、禁煙、肥満や低体重を避けること、バランスの良い食事を摂ることなどが感染防御のために有利だと考えられています。しかし、食事の工夫などのみでワクチンのように特定の感染症のリスクを下げることは困難です。



より詳しく知りたい方は…

厚生労働省「新型コロナワクチンQ & A」ホームページをご覧ください。
<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>



広報連絡委員レポート No. 425



夏の思い出

広報連絡委員 須田 美和

この夏は東京五輪が開催され、コロナ禍で複雑な思い出でしたが、アスリートの活躍に次第に夢中になりました。我が子たち学生世代は我慢の連続で、同世代が日々の成果を発揮出来る場を得られたことは羨ましくもありました。でもそのひた向きの姿に元気ももらって、困難な中でも出来る事に向かおうと希望を持って17日間でした。

そんな中で親世代は2回目の五輪に感動も大きかった事でしょう。ワクチン接種を終え、少し会う機会ができた両親と、昔話に花が咲きました。

野木駅開業の翌年、昭和39年東京五輪の年に丸林下西地区に建てられた実家は、新橋小近くにありま。3種の神器「テレビ・洗濯機・冷蔵庫」を10万円で購入し、12月に結婚を控え1人でテレビ観戦をした父は、「東洋の魔女」に夢中でした。父も高校時代にバレーボール選手だったので、日紡貝塚チームと練習試合をしたという話も飛び出し、一気に熱がこもりました。

そして一番印象に残っているのは、あちこちか

ら聞こえた「東京音頭」だそうです。今回も閉会式で選手も参加していて盆踊りは世界に通じるんだなと嬉しく思いました。私が子どもの頃は、地区毎に法被や浴衣を揃え駅前通りを日光和楽踊りと花笠音頭で練り歩くのが夏休みの定番でした。

その駅から4号線までの駅前通りも、39年の丸林下西はわずか7軒しか無く、平地林とガマの穂が群生し、夜はヨシキリ、朝はカツコウの声が聞こえる長閑な所だったそうです。

駅が出来たから野木の土地を選んだ父は、朝晩1本の東京直通電車で通勤する「企業戦士」でした。

そして、50年代に家の前からローズタウン第一期工事が始まり、大好きなニセアカシアの木が伐採され寂しかった思いと、目の前の風景が一変した事はよく覚えています。

小さな我が家の歴史ですが、家族の時間がありがたく感じた夏となりました。



39年当時の実家(手前)